

陶器製管楽器の製作支援

支援先

オカリーナの平本（平本孝太）

【支援の背景】

「オカリーナの平本」は国内屈指のオカリーナ工房として製造、直販サイトの運営、オカリーナ演奏を通じた音楽の普及活動を行っています。製品は低音用～高音用までの7種類あります。

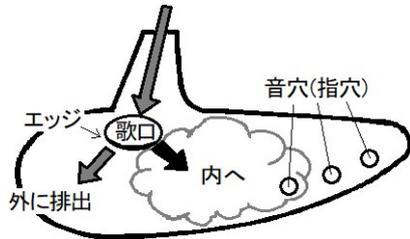


図1 オカリーナの構造

オカリーナは管楽器の一種で、吹き込んだ空気が歌口で分かれ、気流が内部で共振を起こす振動源となり、音が発生します（図1）。このため歌口のエッジや音孔（指穴）の面積や位置、内容積、壁面条件（平滑性・厚み）等の条件が異なると楽器としての品質の均一性に問題が起きます。

依頼者は「オカリーナの平本」後継者であり、均一な製品を作るために必要な基本的な石膏型製作について、オカリーナに特化した内容で延べ10日間の研修を行いました。



図2 石膏ケース型

【支援内容】

依頼者が考案した2種のオカリーナ形状の原型を正確に複製できるように型の保持・取扱い方法などを学ぶ座学と、石膏元型・ケース型・使用型（量産型）を製作する実技指導を行いました。

ケース型は使用型（量産型）を複製するために何度も使用するので膨張係数を抑える必要があるなど、原型・ケース型・使用型（量産型）ごとに役割が異なるため、それぞれの役割に応じて石膏の比率を調整する方法などの指導を行いました。

また、使用型（量産型）については、繰り返して使用しても寸法精度があまり変化しないことが求められるため、型の厚みや強度などに関する助言等を行いました（図2）。



図3 販売した製品

【成果】

製作した石膏型からは、依頼者初となるモデルが制作されました（図3）。

黒を基調とした従来製品（図4）に対し、差別化のため素地に顔料を添加したパステルカラーで彩色しました。

令和4年12月に第1弾15個を製造し（完売）、今後は形状・デザイン・製造工程（素材・焼成等）に改良を加え、音の精度を高める製品開発を行う予定です。

また製作したオカリーナは自社サイトほかAmazon等での販売を予定しています。



図4 従来製品

問合せ先：オカリーナの平本
茨城県笠間市笠間2192-6
cantare_ocarina@yahoo.co.jp
<http://cantare.her.jp/01kaisya.html>

基礎となった事業

令和4年度 笠間陶芸大学校事業費

担当グループ

陶芸人材G

グループ長
主任研究員

尾形 尚子
常世田 茂

TEL:0296-72-0316